

带状疱疹について

[_____]さま

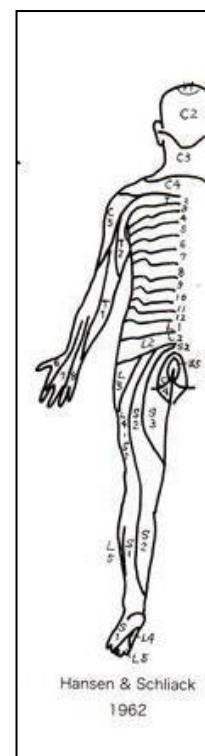
【带状疱疹について】

- 带状疱疹とは、水痘・带状疱疹ウイルス(VSV)によって生じる病気です。
- 水痘は、幼少期に感染します、この時は「みずぼうそう」で、一時的に発熱・水疱ができるものの治り問題にはなりません。
- ところが、みずぼうそうが治っても、VSV ウイルスは体内の神経根に残存します。普段は特に症状を起こしませんが、体調を崩すなど、何かをきっかけとして、ウイルスが再増殖し、水膨れを伴う発疹が出現します。これが带状疱疹です。



【带状疱疹の症状】

- 痛みを伴う発赤・水ぶくれが特徴です。初期段階では痛みだけがあり、発疹が遅れて現れることがあります。
- 神経節にそって出現するために、通常体の半側、限られた場所に帯状に出ます。
- 水疱は時間が経つとかさぶたになり、消えていきますが、消えたあとも長く痛みが残ることがあります(带状疱疹後神経痛)



【治療】

- できるだけ早くウイルスを抑える薬(アシクロビル・バルトレックス)を服用することで、早く病気が治まります。早く治療した方が带状疱疹後神経痛になりにくいと言われています。
- 带状疱疹が顔面(三叉神経領域)にある場合、アシクロビルの点滴による治療が望ましい。
- ウイルスによる病気ですが、上記のとおり、随分昔に体内に入ったウイルスが引き起こすので、感染はしません。ただし一歳未満の新生児は、水痘ウイルスを持っていないので感染することがあります。気をつけましょう。
- 带状疱疹は通常一度しか罹患しません。繰り返す場合は膠原病や悪性腫瘍、骨髄疾患など別の病気で免疫機能が低下して可能性があります。

上記内容を説明しました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 科